

災害に備えて安心!

9月1日は『防災の日』 8月30日～9月5日は『防災週間』

大規模地震の発生や、台風と大雨のシーズン到来に備え、避難場所や避難経路、非常用の持ち出し品の確認など、日頃から災害へ備えることが大切です。☎ 市民安全課・内線217

地震に備える

地震の被害を最小限にとどめるには、日頃から隣近所との付き合いを大事にし、地震が発生した際には、安否確認などの声掛けや救助、避難など落ち着いて行動することが大切です。

また、各家庭で3日以上(できれば7日分)の食料や飲料水を非常用として用意しておくほか、トイレで困らないように携帯用トイレや代用品(ポリ袋、消臭・凝固材など)があると便利です。

- ☐ 建物・ブロック塀の点検 耐震性を確認しておきましょう。
- ☐ 屋内の安全確保 家の中の整理整頓や大型家具などの転倒防止、ガラスの飛散防止などをしましょう。
- ☐ 家族で話し合い 避難場所や災害時の連絡方法を決めておきましょう。

台風に備える

これから台風や大雨のシーズンとなります。被害を軽減するには、気象情報に注意するとともに、日頃から家の周りの安全点検や近くの排水溝の掃除など、大雨や暴風に対する備えを十分にしておきましょう。

- ☐ 屋根 瓦やトタンのひび割れ、ズレをなくす。アンテナを固定する。
- ☐ 雨どい つなぎ目の外れ、枯れ葉やごみ、ホコリ、泥などの詰まりを確認する。
- ☐ ベランダ 強風で飛ばされそうなものは置かない。
- ☐ 窓ガラス ひび割れ、破損、ぐらつきを確認する。
- ☐ 雨戸 がたつきが無いように調整する。
- ☐ 家の周囲 テレビのアンテナや看板、塀などを点検し補強する。雨どいや家の周りの排水溝なども点検し、ビニール袋や板などを撤去して、水の流れをよくしておく。

我孫子市総合防災訓練

日時 10月19日(土)午前9時30分～ 場所 我孫子第一小学校校庭

避難情報や避難行動を確認しましょう

避難情報～レベル④で全員避難～

防災情報の意味が直感的に理解できるよう、内閣府では5段階の警戒レベルを用いて、とるべき行動の対応を明確化しました。住民自らが行動をとる際の判断の参考となる「防災気象情報」を、国土交通省・気象庁・千葉県は「警戒レベル相当情報」としてお知らせします。

警戒レベル	避難情報など	防災気象情報など(警戒レベル相当情報)
警戒レベル⑤ 命を守る最善の行動を	市が発令	災害発生情報
警戒レベル④ 全員避難		避難指示(緊急)、避難勧告
警戒レベル③ 高齢者等避難		避難準備・高齢者等避難開始
警戒レベル②	洪水注意報	氾濫警戒情報、洪水警報
警戒レベル①	早期注意情報	

状況に応じた避難行動を

- ☐ 安全な場所へ移動～水平避難～ 指定避難所や高台、土砂災害警戒区域外の知人の家などに移動してください。
- ☐ 近隣の高い建物などへ移動～垂直避難～ 安全な場所への移動が難しいときは、近くの頑丈な建物の2階以上に移動してください。
- ☐ 屋内での安全な場所へ移動～屋内避難～ 屋外への移動がかえって危険なときは、崖と反対側で、なるべく高い階の部屋などに移動してください(特に土砂災害が発生した場合)。

防災行政無線が聞こえづらいときは

防災行政無線では、避難情報などをお知らせします。聞こえづらい場合は、テレホンサービスやメール配信サービスをご利用ください。

◎テレホンサービス ☎0120-031-676

放送後約1時間経過または次の放送がされた場合は、情報が入り替わります。

◎メール配信サービス(要事前登録)

登録手順 ①abiko-reg@kmei.jpへ空メールを送信してください。②登録案内メールが送られてきます。*登録案内メールが送られてこない場合は、メール受信の許可設定(ドメイン名「@city.abiko.chiba.jp」)をし、再度空メールを送信してください。③メール本文に記載されているURLをクリックし、表示画面に従い登録してください。

*登録内容を変更したい場合も同じ手順で行えます。

☎ 秘書広報課広報室 ☎7185-1269

1面 “防災〇×クイズに挑戦!”の答え

Q1 近くの安全な場所にとどまりましょう。交通機関の情報や道路の被害状況を入力し、周囲の状況に応じて、冷静に行動しましょう。

Q2 「災害用伝言ダイヤル」は、災害の発生により通信が繋がりにくくなった場合に提供が開始される声の伝言板で、録音・再生が可能です。

Q3 「飼い主責任の原則」に従い、ケージに入れるなど、マナーを守った飼育をしましょう。

Q4 けが予防のため、できるだけ長袖や長ズボンで肌を守りましょう。

Q5 すぐに持ち出せるよう、玄関や物置などに備えましょう。

Q6 全ての階のボタンを押し、最初に止まった階でエレベーターを降りましょう。

Q7 おきましやう。いざというときのため、家庭や職場で備蓄しておきましょう。

Q8 まずは自分の身の安全を確保してください。身の安全が確保できてから火を止めましょう。

Q9 ハザードマップは日頃から確認し、いざというときに速やかに避難できるようにしましょう。

Q10 防災情報は、防災行政無線の他、フリーダイヤル、メール配信サービス、ホームページ、ツイッターなど複数の方法で発信しています。